



みんながつながる

地域学校協働活動便り

NO.9

青森県教育庁生涯学習課地域連携推進グループ TEL017-734-9890 E-mail: chikuko_kudo@mx.pref.aomori.jp
統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員 工藤知久子

令和5年度 地域と学校とのパートナーシップ強化事業 地域学校協働活動研修（東青・西北・三八地区）

～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動との一体的推進に向けて～

令和5年度「地域学校協働活動研修」東青地区・西北地区は、千葉県習志野市秋津小学校でコミュニティ・スクールの先駆者として学校運営改革を実践してこられた岸裕司氏、三八地区は、昨年4地区での研修会でご講義いただいた安齋宏之氏を講師にお招きしました。

岸氏はコミュニティ・スクール（地域とともにある学校）とスクール・コミュニティ（学校とともにある地域）を実践してきた「秋津モデル」について、学校と地域が協働してWin-Winの関係をつくり、不登校ゼロや働き方改革のスリム化につながった事例等を紹介されました。一方の安齋氏は、コミュニティ・スクールはツールであり、学校運営協議会での合意形成をうまく活用するための「熟議」によって、価値ある目標が設定され、関係者が取り組んでいくことが子どもたちにとっての最大の学びにつながっていくと講話されました。

さらに、模擬熟議では、校種の違うメンバーが短時間で多くの意見を出し合い、視覚化し整理することで多様な視点での気づきを得ることができました。三八地区では、あるコーディネーターから活動の困り事や課題が出されましたが、他校のコーディネーターから取組事例やアイデアなどが紹介され、今後に役立つ情報を共有することができました。たいへん実りある模擬熟議となりました。町村の教育委員会職員同士の情報交換も活発になされました。

今年は猛暑にも関わらず、たくさんの方々にご参加いただきました。アンケート結果を踏まえ、今後の研修会に役立ててまいります。皆さま、ありがとうございました。

地区	東青	西北	三八
日時	令和5年8月9日（水）	令和5年8月22日（火）	令和5年9月5日（火）
会場	青森県総合社会教育センター	つがる市生涯学習交流センター 松の館	南部町総合保健福祉センター ゆとりあ
参加人数	会場 54名 オンライン 10名	会場 56名 オンライン 2名	会場 54名 オンライン 11名
講師	スクール・コミュニティ研究会 代表 岸 裕司 (元文部科学省 CS マイスター)	スクール・コミュニティ研究会 代表 岸 裕司 (元文部科学省 CS マイスター)	ふくしま学校と地域の未来研究所 代表 安齋 宏之 (文部科学省 CS マイスター)
	 	 	 

三戸町教育委員会 「令和5年度 三戸町学校運営協議会研修会」

会場：小中一貫三戸学園三戸小・中学校
学習センター

9月4日、CSマイスターの安齋宏之氏は、三戸町教育委員会の慶長教育長や職員にお会いし、今後のコミュニティ・スクールの導入についての助言をした後、三戸町学校運営協議会委員、PTA、教職員、社会教育関係団体等50名を対象とした三戸町学校運営協議会研修会で「対話と信頼に基づく学校経営のためのコミュニティ・スクールの活用～熟議～」をテーマに講話しました。三戸町はこれまでも小中一貫教育の更なる推進と、三戸高校や地域の関連団体との連携を深めることを目的に、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）への理解を深めるための研修会や熟議等は実施してきました。今回の研修会の熟議では、講義での学びをもとに模造紙いっぱい付箋が貼られ、立ち上がって意見交換をするグループも複数あり、子ども達と町の未来への熱い思いが会場に広まっていました。

青森市教育委員会 「令和5年度コミュニティ・スクール関係者等研修会」

会場：青森市教育研修センター

9月20日、令和5年度コミュニティ・スクール関係者等研修会が青森市にて開催されました。CSマイスターの出口寿久氏（北海道科学大学教授）を講師に招き、「学校運営協議会の深化（進化）を目指して」をテーマに、学校運営協議会会長、校長先生、教頭先生、推進員、CSDなど68名が学びました。講話では、文部科学省在職中に地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの立ち上げに携わった経緯や全国の先進事例をご紹介してくださいました。また、先進事例の活動の成果と課題をアンケート結果から分析し、持続可能な地域づくりを築いていくことが、「青森市を愛する子ども達の教育」につながっていくと話されました。

「模擬熟議を体験し、ファシリテートの手法を学ぶ」演習では、“めざす子どもの姿”“学校・地域・家庭ができること”“具体的方策”と3段階に分けて意見を出し合い、可視化することで学校運営協議会委員の協働と具現化につながっていくことを学びました。



平内町教育委員会 「第1回平内町学校運営協議会設立準備委員会」

会場：平内町立山村開発センター

9月21日、令和5年度第1回平内町学校運営協議会設立準備委員会が開催され、委員への委嘱状交付、委員長・副委員長の選任と研修会が行われました。

平内町は、令和2年度地域学校協働本部設置から今年度学校運営協議会設置へと進めてきました。（令和4年度 県が作成した『地域学校協働活動ハンドブック 実践編』に記載）

CSマイスターの出口寿久氏は、「地域とともにある学校づくり」について講話し、学校運営協議会委員のために、細部まで分かりやすくお話くださいました。模擬熟議では“学校の課題”“学校・地域・家庭ができること”“具体的方策”の3段階に分けて意見を出し合いました。学校毎のグループでは、具体策について委員と推進員から、今後の活動にすぐに役立つ情報提供があり、具体的な活動につながる一歩前進した熟議になりました。

令和5年度地域と学校とのパートナーシップ強化事業 「学校と地域のネットワークづくり」

会場：弘前市総合学習センター

9月26日、弘前市総合学習センターにて、まなびのたねネットワーク代表理事 伊勢みゆき氏を講師に、企業関係者と学校が連携・協働して地域の子どもの育む仕組み（地域学校協働活動）について学ぶ「学校と地域のネットワークづくり」が開催されました。

今回は「みんなで育む地域の子どもたち」をテーマに、小・中・高・特別支援学校教職員、企業関係者、教育支援プラットフォーム中南地区実行委員、県立学校推進員の42名が参加しました。（前日の25日は三八地区でも開催され、コーディネーターの方々が多数参加しました。）

交流会では、グループ毎に目指す子どもの姿や地域とつながる活動、課題などを書き出し、グループ内で発表しました。伊勢氏からは、組織がうまくいくには、子どもが参画し、子ども主導の活動に大人を巻き込むとともに、チームになってお互いを知ったうえで何かをやるうとすると、動きが早くうまくいく“関係の質の向上”の事例を紹介してくださいました。これからの活動の大きなヒントとなりました。終了後は、名刺交換をして交流を深めました。

